

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年7月30日 (2015.7.30)

【公表番号】特表2014-522541(P2014-522541A)
 【公表日】平成26年9月4日 (2014.9.4)
 【年通号数】公開・登録公報2014-047
 【出願番号】特願2014-515923(P2014-515923)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 6 F 1/20 (2006.01)

G 0 6 F 1/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 5 A

G 0 6 F 3/048 6 5 4 A

G 0 6 F 1/00 3 6 0 E

G 0 6 F 1/00 3 9 0 B

G 0 6 F 3/048 6 5 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月12日 (2015.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウィンドウによって画定される、画面の一領域内に、データを表示するステップと、
 第一のユーザ入力を受信に応じて、前記画面の第一の所定の領域に前記ウィンドウを移動するステップと、

前記画面の前記第一の所定の領域に前記ウィンドウが到達した後に、第二のユーザ入力を受信に応じて、第一の軸を中心としたウィンドウの回転を表示するステップであって、
前記第一の軸を中心とした前記ウィンドウの前記回転によって、前記ウィンドウを表示する前記画面の前記一領域のサイズが小さくなるステップと、

第二のユーザ入力を受信に応じて、前記画面の第二の所定の領域に前記ウィンドウを移動するステップと、

前記画面の第二の所定の領域に前記ウィンドウが到達した後に、第三のユーザ入力を受信に応じて、前記第一の軸と垂直な第二の軸を中心としたウィンドウの回転を表示するステップであって、前記第二の軸を中心とした前記ウィンドウの前記回転によって、前記ウィンドウを表示する前記画面の前記第二の所定の領域のサイズが小さくなるステップと、

前記第一の軸を中心として前記ウィンドウが第一の所定の角度回転した後に、前記第二のユーザ入力と同じ方向に、第四のユーザ入力を受信に応じて、前記ウィンドウをアイコンに縮小するステップ、あるいは、前記第二の軸を中心として前記ウィンドウが第二の所定の角度回転した後に、前記第三のユーザ入力と同じ方向に、第五のユーザ入力を受信に応じて、前記ウィンドウをアイコンに縮小するステップ、

とを有する、コンピュータによって実行されるデータの画面表示方法。

【請求項 2】

前記画面の前記第一の所定の領域は、前記画面の右または左の縁部を含み、前記画面の前記第二の所定の領域は、前記画面の上または下の縁部を含むことを特徴とする請求項 1

に記載の方法。

【請求項 3】

第一のアプリケーションを実行して、前記ウィンドウによって画定される、前記画面の前記一領域に表示するための前記データを含む第一の画像を生成するステップと、

第二のアプリケーションを実行して、第二の画像を生成するステップと、

前記ウィンドウとは別のウィンドウによって画定された、前記画面の前記第一の領域とは別の領域に前記第二の画像を表示するステップと、をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第一のアプリケーションと前記第二のアプリケーションは、ロボットの操作に関連することを特徴とする、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第一のアプリケーションは、

(i) 幾何学的モデルをロードまたは生成する現場形状管理 アプリケーション、

(ii) 前記ロボットに搭載されたカメラによってキャプチャされた、もしくは、ファイルに記録されたビデオストリームを記憶したり、表示したりするビデオストリームアプリケーション、

(iii) 前記ロボットの周辺の座標に物体をマッピングし、前記ロボットに対するパノラマディスプレイを生成するパノラマ式注意アプリケーション、

(iv) 前記ロボットにコマンドを送信するための、指示アプリケーション、

(v) 前記ロボットの前記動作に関するデータのストリームをプロットする、プロットイングアプリケーション、

(vi) メッセージを遮断し、その遮断したメッセージに関連するイベントが起こった時間を記録する記録アプリケーション

のうちの一つであることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第一の画像又は前記第二の画像は、半透明であることを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第一のアプリケーションと前記第二のアプリケーションは、ミドルウェアにおいてプリミティブを共有することを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 8】

データを処理する第一のアプリケーションと、

前記第一のアプリケーションに関連付けられたウィンドウマネージャーとを備え、

前記ウィンドウマネージャーは、

ウィンドウによって画定される画面の一領域内に、前記第一のアプリケーションによって生成された画像を表示し、

第一のユーザ入力を受信に応じ、前記ウィンドウを前記画面の第一の所定の領域に移動させ、

前記ウィンドウが前記画面の前記第一の所定の領域に到達した後に、第二のユーザ入力の受信に応じて、第一の軸を中心にした前記ウィンドウの回転を表示し、前記第一の軸を中心にした前記ウィンドウの回転によって、前記ウィンドウを表示する前記画面の前記一領域の大きさは縮小され、

第二のユーザ入力の受信に応じ、前記ウィンドウを前記画面の第二の所定の領域に移動させ、

前記ウィンドウが前記画面の前記第二の所定の領域に到達した後に、第三のユーザ入力の受信に応じて、前記第一の軸と垂直な第二の軸を中心にした前記ウィンドウの回転を表示し、前記第二の軸を中心にした前記ウィンドウの回転によって、前記ウィンドウを表示する前記画面の前記一領域の大きさは縮小され、

前記第一の軸を中心として前記ウィンドウが第一の所定の角度回転した後に、前記第二

のユーザ入力と同じ方向に、第四のユーザ入力の受信に応じて、前記ウィンドウをアイコンに縮小させるか、あるいは、前記第二の軸を中心として前記ウィンドウが第二の所定の角度回転した後に、前記第三のユーザ入力と同じ方向に、第五のユーザ入力の受信に応じて、前記ウィンドウをアイコンに縮小させる
ように構成されることを特徴とするコンピュータ機器。

【請求項 9】

ユーザ入力を処理して、処理後のユーザ入力信号を生成する入力ハンドラを備え、
前記処理後のユーザ入力信号は、前記ウィンドウを移動したり、回転したりするために、
前記アプリケーションもしくは前記ウィンドウマネージャーに提供されることを特徴と
する請求項 8 に記載のコンピュータ機器。

【請求項 10】

前記画面の前記第一の所定の領域は、前記画面の右または左の縁部を含み、前記画面の
前記第二の所定の領域は、前記画面の上または下の縁部を含むことを特徴とする請求項 8
に記載のコンピュータ機器。

【請求項 11】

前記第一のアプリケーションは、ロボットの操作に関連付けられ、
少なくとも、第二のアプリケーションを更に有し、
前記第二のアプリケーションは、前記ウィンドウとは別のウィンドウによって画定され
る、前記画面の前記一領域とは別の領域に、前記ロボットの前記操作に関連付けられた別
のセットの画像を表示するように構成されていることを特徴とする請求項 8 に記載のコン
ピュータ機器。

【請求項 12】

前記第一のアプリケーションと前記第二のアプリケーションは、複数のプリミティブを
ミドルウェアにおいて共有していることを特徴とする請求項 11 に記載のコンピュータ機
器。

【請求項 13】

前記第一のアプリケーションは、
(i) 幾何学的モデルをロードまたは生成する現場形状管理アプリケーション、
(ii) 前記ロボットに搭載されたカメラによってキャプチャされた、もしくは、ファイル
に記録されたビデオストリームを記憶したり、表示したりするビデオストリームアプリケ
ーション、
(iii) 前記ロボットの周辺の座標に物体をマッピングし、前記ロボットに対してパノラ
マディスプレイを生成するためのパノラマ式注意アプリケーション、
(iv) 前記ロボットにコマンドを送信するための、指示アプリケーション、
(v) 前記ロボットの前記動作に関するデータのストリームをプロットする、プロッティ
ングアプリケーション、
(vi) メッセージを遮断し、その遮断したメッセージに関連するイベントが起こった時間
を記録するための、記録アプリケーション
のうちの一つであることを特徴とする請求項 11 に記載のコンピュータ機器。

【請求項 14】

実行されると、プロセッサに、
ウィンドウによって画定される画面の一領域内に、データを表示させ、
第一のユーザ入力の受信に応じて、前記画面の第一の所定の領域に前記ウィンドウを移
動させ、
前記ウィンドウが前記画面の前記第一の所定の領域に到達した後、第二のユーザ入力の
受信に応じて、第一の軸を中心にした前記ウィンドウの回転を表示させ、前記第一の軸を
中心にした前記ウィンドウの回転によって、前記ウィンドウを表示する前記画面の前記一
領域の大きさが縮小され、
第二のユーザ入力の受信に応じ、前記ウィンドウを前記画面の第二の所定の領域に移動
させ、

前記ウィンドウが前記画面の前記第二の所定の領域に到達した後に、第三のユーザ入力の受信に応じて、前記第一の軸と垂直な第二の軸を中心にした前記ウィンドウの回転を表示させ、前記第二の軸を中心にした前記ウィンドウの回転によって、前記ウィンドウを表示する前記画面の前記一領域の大きさが縮小され、

前記第一の軸を中心とした前記ウィンドウが第一の所定の角度回転した後に、前記第二のユーザ入力と同じ方向に、第四のユーザ入力の受信に応じて、前記ウィンドウをアイコンに縮小させるか、あるいは、前記第二の軸を中心とした前記ウィンドウが第二の所定の角度回転した後に、前記第三のユーザ入力と同じ方向に、第五のユーザ入力の受信に応じて、前記ウィンドウをアイコンに縮小させる

インストラクションを記憶した、コンピュータが読み取り可能な不揮発性記憶媒体。

【請求項 15】

前記画面の前記第一の所定の領域は、前記画面の右または左の縁部を含み、前記画面の前記第二の所定の領域は、前記画面の上または下の縁部を含むことを特徴とする、請求項 14 に記載のコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。